科目名	エコビジネス　　Eco-Business						
科目担当者	武次　玄三　　TAKETSUGU Genzō						
単位数	2	配当年次	3年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修〇					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	20 世紀はある意味で経済発展だけを目標にしてきた〈一輪車〉型の社会だったかもしれない。しかし、21 世紀は「エコノミー（経済)」と「エコロジー（地球環境)」を「両輪」とする社会に必然的に変わらざるを得ないだろう。環境破壊型の成長至上主義から「持続可能な成長」へと。「環境共生（保全）型」の企業社会を構築するための様々な問題について学び、検討していきたい。前半に環境問題全般に関する様々な学問的アプローチについて概説する。後半は環境問題への企業の具体的な取り組みについて考える。それらを通して、環境への対応や配慮、つまり ESG 経営が 21 世紀の新しいビジネスの形であることを示したい。						
授業の到達目標	①　環境法規、環境経済学、環境ビジネス・環境経営等に関する基本的知識を理解し、環境保全・保護の視点から現在の社会･経済状況を理解できるようなる。 ②　企業による様々な環境対応への取組の知識と理解を深める。 ③　その上で、今後の政治・経済や企業経営の方向性を自ら批判的に考察できるようになる。						

授業計画・内容		
	1	「エコノミー（経済)」と「エコロジー（地球環境)」概説
	2	環境問題と法律(1)法律のグリーン化
	3	環境問題と法律(2)条約／議定書
	4	エコビジネス成長の背景と SDGs
	5	環境経済学(1)　経済的手法
	6	環境経済学(2)　税のグリーン化
	7	環境経営（1)（環境管理システム EMS）
	8	環境経営（2)（ESG）
	9	環境ビジネス（技術系）(1)再資源化（4R）
	10	環境ビジネス（技術系）(2)新エネルギー
	11	環境ビジネス（技術系）(3)エコプロダクツ・環境保全・環境修復
	12	環境ビジネス（人文／ソフト系）(1)金融・コンサルティング、ESG 投資
	13	環境ビジネス（人文／ソフト系）(2)広告・ツーリズム
	14	環境ビジネス（人文／ソフト系）(3)教育・サービサイジング
	15	まとめ

授業外学修 (事前学修)	環境に関するマスメディアやインターネット等で取り上げられる事柄や、身近な事象等に興味関心を持ち、それらについて考察する（毎週 2 時間)。
授業外学修 (事後学修)	授業で配布されるプリントや資料を読み直し復習する（毎週 2 時間）。

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	毎回提出するペーパー 定期試験（またはレポート）	20% 80%	①、②、③ ①、②、③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	毎回講義の要約と資料等を配布する。
参考文献	「ESG 経営」日経エコロジー編著　日経 BP 社 「ESG 読本」足立英一郎他著　　日経 BP 社 「生物多様性・自然資本経営」　　日経 BP 社
その他	